

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北海道恵庭市立松恵小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒061-1403
北海道恵庭市中央452番地2
 E-mail : matuesho@educet01.plala.or.jp
 Website : http://www.matue.hs.plala.or.jp/
 児童生徒数：男子 55 名 女子 47 名 合計 102 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

A ユネスコショップの取組

食育・環境活動の中心は、「学級園の野菜作り」「川の学習」及び「緑の少年団活動」による活動に加え、「書き損じはがき」、「リングプル・ペットボトルキャップ」等を回収し寄付する活動を行う傍ら、環境にも関心をよせてもらうよう取組を行っている。

全校児童102名の少人数学校のため、回収活動を通して寄付できる量は限られておりユネスコ活動を見直す時に、「少人数でも貢献できるもの」「ユネスコへの寄付活動で子ども達に感動を与える事ができるもの」はないかと全職員でプランを練った。その結果、松恵小学校で取り込んでいる「食育・環境」を中心にした活動に目を向けた。低学年では生活科の活動で作物を育てており、中・高学年では総合的学習の時間の活動に「農園学習」を取り入れ、農作物を栽培している。学校農園で栽培している作物を販売し、その益金をユネスコに寄付する活動を考えた。夏休み以降に「ユネスコショップ」がオープンできるように計画を立てた。ユネスコショップの開設及び販売活動を1・2年合同による生活科の実践としてスタートさせ、作物の育ちの状況を見て、夏休み前にプレオープンと銘打って、同じく1・2年生を中心にお店の準備をすすめた。育った作物をお店に並べ、夏休み明けから10月24日まで販売・寄付のお願いを行った。

以下「ユネスコショップ」にかかわる活動を中心に報告を行う。

1. 種まき・栽培活動・全校収穫祭

本校には300坪の学校農園があり、生活科や総合的学習の時間の中で野菜を栽培している。恵庭市は花の街として有名であるが、学校近隣の農家の方には稲作を行う方も多し。そのような環境もあって地域の農家の方に学校として様々な面で支援していただいている。秋には収穫した作物で全校収穫祭を開催し、調理したものを全校児童全員のテーブルに並べる。全校児童が一同に集まり並んだご馳走を前にして食べたい料理をトレーに載せみんなで会食する。

5月、全校児童が一斉に野菜の苗を植えたり種まきを行う。この頃に児童会が中心となって「全校種まき集会」を行う。

野菜が実り食べ頃になると担任を中心として収穫を行い、食べる機会を設け、そのまま食べたり、家庭科室で簡単な調理を行う。「美味しい物は、みんなで分けて」ということで、まだ自分の栽培している作物が収穫できないクラスメートにも「美味しさのお裾分け」をして意欲の継続を図っている。

9月、全校収穫祭の開会式で、これまでお世話をしてきた野菜について「気をつけてきたこと」や「大変だったこと」、「成長してうれしかったこと」、「おいしかった食べ方」などを各学年が、工夫を凝らし発表する。併せて収穫祭で作る料理の紹介を行う。

2. ユネスコショップ

1・2年生による生活科の「栽培活動」は、育てた野菜を全校収穫祭で紹介した後に調理を行い、それらの活動をまとめとして終了していた。昨年度から

は、ユネスコショップを開設して野菜を売るという活動、さらに、野菜を売った収益金をユニセフに寄付する活動、寄付した益金が、世界の恵まれない子ども達にワクチンやノート・鉛筆等に変更し手元に届くまでを想定した活動も視野にいれるようになった。

5月に植えた野菜は、夏休み前くらいから収穫できるようになるため、プレオープンとして夏休み前から野菜の販売を始めた。野菜作物を販売するお店は、道路に面した旧校長住宅に手を加えて売り場とした。新鮮な野菜を安価で売る。月曜日から金曜日までオープン。開店時間は登校時間から下校まで。中休みや昼休みの店番は、児童が担当した。それ以外の時間は、無人ショップ。そのようなお店が今年度は、34,537円を売り上げ（寄付され）た。テレビ局や地元の記事等で紹介してもらった影響も大きい、子どもたちの更なる励みにつながった。ユネスコに寄付した益金が、同世代の恵まれない子ども達に「喜び」を与えてくれる。

一粒の種や一株の苗から実ができ、やがえ姿を変え世界中の子どもの笑顔につながる。松恵っ子の「心や思い」は姿を変え、次から次と「絆」となつてつながっていく。一つの感動から、次の「思い」へと連続させながら学習を発展させていった。ユネスコショップを開設して野菜を販売する活動を通して、本校教育目標の「自立と共生」が確実に育ってきている。

B 主な活動

1 国際理解

- ・総合的な学習の時間、外国語活動
- ・ディンケさんによる MakeFactory の授業

2 平和・人権

- ・なかよしさわやか Day の全校標語作り
- ・CAP 教室の実施

3 伝統文化

- ・ふれ合い集会 ～ 餅つき、地域の方の話

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)